

発行所 兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話(078)940・1850 FAX(078)940・1851

定価1部 50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人 坂本伸哉

兵庫山岳

姫路徒歩会

会独自の「冬山入門講座」実施

ちくさ高原スキー場へ天児屋山

はりま支部では、新型コロナ禍以前から、大山で冬山入門講座を1泊2日の日程で開催してきました。

1日目に滑落停止訓練、スタンディングアックスピレ、ビーコン、プロープでの搜索、スコップでの掘り起こし、ツェルト搬送、スノーマウン

たが、感染拡大に伴い県域を越える移動を避けるために、開催地を県内に変更し日帰りで実施と決めたのが2021年1月12日。ところが翌1月13日に緊急事態宣言が発出され、1月17日にオンライン会議を開催し中止を決定しまし

2022年は、ちくさ高原での訓練を予定していましたが、急激なオミクロン株感染拡大に鑑み、1月20日に「はりま支部としての訓練は中止し、訓練実施は所属クラブの判断に委ねる」とこととなりました。

このような経緯を経て、姫路徒歩会では、1月23日(日)ちくさ高原スキー場から天児屋山へのスノーシューでの山行中に文字通りの「冬山入門講座」を実施しました。以下、参加者からの報告です。(姫路徒歩会 永野彰一)



まであったトレースと穏やかなお天気のお陰で、登り始めの急登でも歩き易く、十分に楽しめました。先行者に感謝です。

スノーシューでの歩き方、ウェア脱着のタイミング、休憩時の場所の作り方、傾斜面近くを通過時の注意点などに加え、ビーコンやプロープについても教わりました。

樹氷、スノーモンスター、雪庇、シュカブラ、遠景の山々など。ここに来なければ見られない素敵なものが詰め込まれた雪山は、一方でとても危険な場所だと学びました。

今後とも忘れないよう継続してこのような講座に参加したいです。(姫路徒歩会 山田 歩)

2日目は、みんなで6号尾根または夏道から弥山山頂を目指し、下山後解散という内容で実施してきました。国内で最初の新型コロナウイルス感染が報道されたのが2020年1月16日であったため、従来通り大山での冬山入門講座を1月18日から19日にかけて開催しました。

感染拡大が続く中、「支部行事を簡単に中止するのでは無く、出来る限りの工夫をこらし実施する」を基本的な考え方とし、支部行事開催に取り組みました。

2020年度計画では例年通りの訓練を予定していま



登山計画書は必ず提出しよう!

昨秋にスノーシューを買いました。この日は、私自身の2回目のスノーシュートレッキングです。冬山入門講座参加者は10名。出発地点のちくさ高原スキー場はたっぷり約3メートルの積雪で、歩き始めからスノーシューを装着しました。目指すは天児屋山山頂。山頂

神戸の中心で **グルメとショッピング**

各線三宮駅直結!

さんちか 検索

詳しくはホームページをご覧ください。 www.santica.com

The New Heart of Kobe 三宮 3.5.57

藤崎先生の地図教室

地形図とコンパス (18)

3月の普及委員会の山行は、六甲登山開拓期に活動したドーント氏の名を冠したドーントリッジを歩きます。ドーントリッジは山脈や尾根の意で、緩傾斜の岩場もいいます。

分水嶺越を境に南北に二分され、現在では瘦尾根の連続する北半を指すことが多いようです。読図してみましよう。

Aは森林植物園の広場で、等高線から標高は約(ア) m。取付きのBの標高は約(イ) mで、地形は(ウ) であること

とがわかります。Bから東へ破線の引かれて尾根がドーントリッジで、この破線は徒歩道ではなく(エ)で、記号の無い境界、ここでは森林植物園の境界を示します。

尾根は地形図の等高線から想像できないほど狭く、小さなアップダウンが連続する箇所があるので、注意が必要です。450 mのコブからは(オ)の方位に延びる(カ急・平坦)と判読できる尾根を行います。460 mの標高点から



ら分水嶺越の鞍部Cへは、尾根を歩くとして尾根線を引きましよう。実際の道はどうでしょうか、現地を確認しましょう。

作成
【解答例】
ア 440 イ 445
ウ 鞍部 エ 特定区界
オ 南南西 カ 平坦
※ 図は電子地形図2500
(兵庫県山岳連盟理事 藤崎 和生)

近畿大会・全国大会 兵庫の高校選手活躍

◎第26回近畿高等学校スポーツクライミング大会(リード競技)は11月13日(土)、比良げんき村人工登はん壁で実施された。入賞・男女各上位8名。

大会当日、朝の気温予想が3℃と冷え込みが心配されたが、雲一つない天気で気温がどんどん上がり、ポカポカ陽気の中ベストコンディションで試合が実施された。

昨今のクライミングブームで選手全体のレベルが上がってきている近畿大会において、4月に初めてクライミングを始めた科学技術高校1年男子、岡田、中村両選手が全国大会に迫るレベルの決勝で4位、8位にそれぞれ入賞した。女子は、決勝グレードが県大会と同じということもあり、科学技術3年三浦選手が安定した登りで予選、決勝とも完登したが、タイム差で惜しくも3位となった。

スポーツクライミング

◆男子個人は41選手が参加。
予選グレードは5・4位岡田望来(科学技術1年)、8位中村 倭(科学技

術1年)、10位服部 司(夢野台2年)、13位小坂陽生(科学技術2年)、16位弘中晴基(夢野台2年)、19位足立神悟(夢野台2年)、20位石塚碧士(科学技術2年)



◆女子個人は25選手が参加。予選グレードは5・12 a、決勝グレードは5・12 b c。

【結果】
3位三浦奈々(科学技術3年)、5位秋山結香(宝塚北2年)、6位是川朋音(科学技術3年)、10位鹿嶺芽生(夢野台2年)、10位松本菜々羽(夢野台2年)



(3面下につづく)

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場
阪急王子公園駅からわずか徒歩3分

緑の中のミーティングルーム
王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL (078)-940-1850 FAX (078)-940-1851 [htt://www.hma.jp/](http://www.hma.jp/)

神戸本店がセンタープラザにお引越し! /

登山、アウトドアのことなら
好日山荘にご相談ください!

好日山荘 センタープラザ神戸本店
神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザ3F
<TEL>078-335-8166 <営業時間>11:00~20:00

好日山荘

1月の神戸市少年団登山教室 「とんど焼き」を見学

1月16日(日)に神戸市少年団登山教室があった。今回は神戸市立森林植物園で「とんど焼き」を見学するのが目的である。この森林植物園の「とんど焼き」は今年で18回目。阪神・淡路大震災で犠牲になられた方への鎮魂などを祈念するために始められた。

10時半過ぎに点火されると瞬く間に大きな炎が上がり組まれていた竹が大きな音を立てて爆ぜた。この竹の爆ぜる「ドン、ドン」という音が「とんど焼き」の由来になったとの説もあると聞く。「とんど焼き」見学の後、再度公園、大師道を経て諏訪山児童公園で解散した。

新型コロナウイルスの拡大や私立の中学受験などが重なり9名の参加者に留まった。ただ、岳連理事、加盟団体メンバー、教員、大学生が参加し総勢14名の引率者となり、子ども達よりも達と一緒に山を歩くという楽しい日を過ごすことができた。

午前9時、神戸市地下鉄谷上駅改札口前に子ども達が集

合。新型コロナウイルスのための検温と山での注意をして9時15分に出発。少し寒いですが天気も良く風もない。2、3日前までは寒波が来ていて天気を心配していたが問題なかった。

引率者は子ども達の間に入り子ども達に注意しながら歩いた。真冬でもあり川面が少し凍っていたが山道が凍って滑るという事もなかった。

10時20分に森林植物園スポーツ広場に着く。すでに5mを越すたくさんの竹を組んだ「とんど焼き」の準備ができていた。その周りには500人を超える多くの人々が集まっている。

10時30分、「とんど焼き」実行委員会の方の挨拶がありその後点火。点火のための火種は東遊園地の「1・17希望の灯り」から分灯したものと



神戸市立森林植物園で、「とんど焼き」を見学する神戸市少年団の子ども達

の事。阪神・淡路大震災のメモリアルデーの前日であることを改めて思い直した。点火と共に大きな炎が上がり燃える竹の爆ぜる「ドン、ドン」という大きな音がする。「とんど焼き」は冬の青空を焦がす大きな火柱となった。11時に森林植物園を出発。

が住む街の一面を感じることができたらと思った。修法ヶ原池の東側にあるツリーハウス前で昼食休憩とする。傍に木々を使って張ったネットがあり何人かの子ども達はネットに乗って遊ぶ。風もなく暖かく感じる時間を過ごすことが出来た。

午後1時に再度公園を出発。ゴールの諏訪山児童公園を目指して大師道を下る。2時20分に諏訪山児童公園到着。子ども達の感想や次回の少年団登山教室の説明をして2時30分に解散した。

12月の少年団登山教室山行に続き今回も兵庫県山岳連盟が担当しました。多くの山岳連盟理事や加盟団体委員の協力を得てこの山行を進めることができたことに感謝しています。

これからの時代を担う子ども達の成長に山を通してお手伝いができることは山に関わる人間にとってこれほど嬉しいことはありません。来年度から神戸市少年団登山教室は兵庫県山岳連盟が運営する予定です。山岳連盟や加盟団体の皆さんで神戸市少年団登山教室を盛り上げていけたらと願っています。

(兵庫県山岳連盟事務局長・ジュニア委員長 大西 幸次)

(2面下からのつづき)

◎第12回 全国高等学校 選抜スポーツクライミング選手権大会(リード競技)

コロナウイルス感染拡大が懸念される中、12月25日(土)26日(日)の2日間にわたり、埼玉県の加須市民体育館「加須こいのぼりクライミングウォール」において感染対策を徹底して大会が開催された。男子では、ユース日本選手権で上位常連の明石南高校1年松岡選手が7位に入賞した。他選手も自分の持てる力を遺憾なく発揮し健闘した。

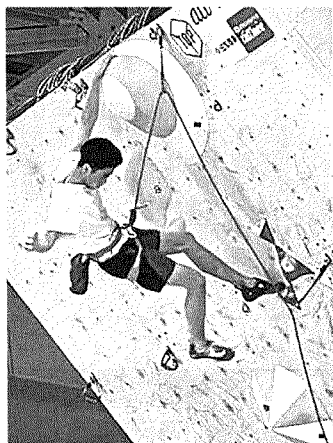
大会運営関係者の皆様には、大会2週間前よりの健康観察、大会受付時のPCR検査等、この状況の中、選手たちの安全を守って無事に大会を終えるための最大限のご尽力を頂いた。

ただただ感謝申し上げる次第である。

【結果】
◆男子個人予選(81選手参加) 7位松岡玲央(明石南1年)、57位中村 倭(科学技術1年)、62位岡田望来(科学技術1年)

◆女子個人予選(86選手参加) 48位三浦奈々(科学技術3年)、51位秋山結香(宝塚北2年)

(兵庫県山岳連盟理事・科学技術高校 斯波 裕司)



あなたの山岳保険は、大丈夫ですか？

必要な保証は検索・救助費用ではありません

日山協山岳共済会

電話:03-5958-3396 FAX:03-5958-3397 月~金 10:00~17:00(祝日除く)

<http://www.sangakukyuousai.jp>



美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

シリーズ・摩耶山地

「摩耶山系の 隠れた尾根を訪ねる」

普及委員会 1月山行

◇実施日 1月23日(日)
◇集合 阪急王子公園駅

8時30分

◇参加者 29名

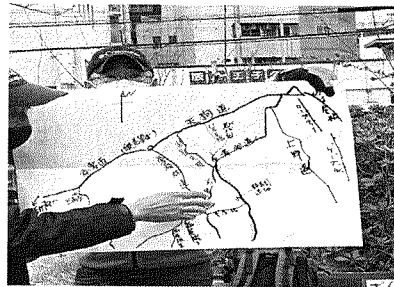
◇コース

阪急王子公園駅→山麓リボンの道→雷声寺→東山東尾根・学校林道分岐→旧摩耶道→岩屋尾根→金山縦走路→稲妻坂三角点→ハーブ園經由布引みはらし台

(解散・13時30分)

コロナウイルスの変異株、「オミクロンの感染拡大」により、兵庫県にもまん延防止等重点措置が発令されるのは時間の問題！そんな最中ではあったが、「隠れた尾根・岩屋尾根」に興味を示された方が多く、参加申込みの段階では37名もおられた。しかし、当日はJRの人身事故による運行遅延などもあり、結果29名参加での実施となった。

計画の段階ではもう一つの隠れた？尾根・東山東尾根もコースに入れていたのだが、下見の段階で、入山者がほとんど無いのかクヌギの落葉でスタートし、山麓リボンの道を西へ向かう。神戸の背山を詳しく説明するにはこの道から山を眺めながらの説明が効果的である。



出発前に今日のルートを解説

滑りやすく、しかも尾根の両側はかなりの傾斜で、ふらつきによる滑落を考えるとケガではすまぬと判断し、コースを変更して行うことにした。



山麓の道を進む

そして旧摩耶道の3ルートの分岐で2回目の小休止。

岩屋尾根は青谷川の源流の西側の尾根で、縦走路から張り出した尾根である。岩屋と言う地名は灘区の浜側に南町、中町、北町と有りJR線より南側なのになぜ摩耶山地となるこの尾根に岩屋の名が付いたの？……。

結果、昔は岩屋村の入会地か飛地があったようで、摩耶山地のこ

のあたりは岩屋村の土地であった為その名が残っているようにある。

取付点は、行者堂跡から



講義を聴く参加者

旧摩耶道に入り、150メートル程進んだ所である。いきなりの急登に加え、落葉で滑りやすいので注意して歩く。冬枯れのジグザグ道は大変明るく気持ちが良い。

コースの中間点付近に少し広くなった場所が有り、天候は午後から雨が来る予報でもあった為、ここで少し早めの昼食をとることにした。

昼食後は、今回も同行くださった環境省神戸保護官事務所・アクティブレンジャー中村氏にご講義をして頂いた。

お題は「山で熊に出逢ったら」と、これまた大変面白いお話であった。

兵庫県山岳連盟
令和4年度
総会開催のお知らせ

日時：4月16日(土)
午後1時～3時

会場：神戸登山研修所
3階・大会議室

令和3年度の連盟の活動報告、4年度の運営、活動方針を決める重要な場です。

ご多忙とは存じますが、加盟団体代表者、理事、評議員の方はご参集願います。

※ コロナ感染拡大状況により、やむをえない場合は、会場参加と、Zoom利用によるオンライン参加を併用した会議形態となる場合もあります。ご了承ください。

※ 総会後の懇親会はコロナ禍のため自粛いたします。

普及委員会 3月企画
神戸背山の歴史山歩
「幻の北ドーントリッジを訪ねて」

◇日程 3月21日(月・祝)

◇集合 市バス 諏訪山公園下 8時30分

◇コース 大師道→大龍寺→再度公園→分水嶺取付→旧北ドーントリッジ→森林植

SINCE 1975

mont·bell

FUNCTION IS BEAUTY

最新情報はこちらから
www.montbell.jp

物園内(昼食後解散)
(約8km。13時頃解散予定)

◇参加費 会員200円 一般400円

※ 2面の「藤崎先生の地図教室」の地図解説も参照してください。

「寄贈ありがとうございました」

山と溪谷2022年3月号・山と溪谷社。登山月報No.635。(公社法) 日本山岳・スポーツ協会。木雞3月号・好山好会。スポ協つうしんVol.38・神戸市スポーツ協会。新山協ニュース第358号・新瀧山岳協会。